

もぐりんが行く！文化財めぐり

第23回佐伯区(広電楽々園駅周辺)

今回もぐりんが行く広電楽々園駅周辺は、江戸時代には干拓によって拓かれた広大な塩田や水田が広がる地域でした。また、京都から下関まで通じる主要道路である西国街道が通っており、多くの物資や人が行き交い、江戸へ参勤交代する大名行列が通るなど、随分な賑わいを見せていました。

<街道松と松原道(佐伯区楽々園1丁目)>

江戸時代の西国街道は、道幅は2間半(約4.5m)と定められ、所々に街道松が植えられたり、約4km毎に一里塚が築かれるなど広島藩による整備が行われていました。かつて、この西国街道の一部である「松原道」が、楽々園駅の直ぐ北側に通っていたのです。

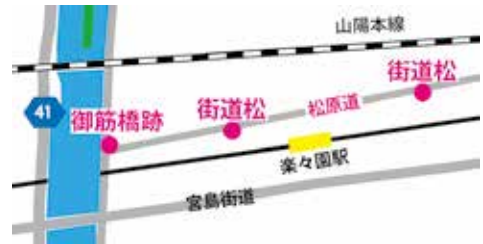


当時「松原道」と呼ばれていたこの道については、江戸時代の西国街道の様子を書いた絵図である『御参勤御下向御行程記』(山口県文書館蔵)に由来が書いてあります。それによれば、もともと五日市の町筋通りにあった古い道から、それより南に新開地が出来たときに付け替えられたまっすぐな道をそう呼んでいたようです。実際に、今でも直線道路が約500mにわたって続いており、道の南側に残る立派な街道松の存在が当時の様子を彷彿とさせています。

道は、西の端で岡の下川に架けられた橋を渡って、西側の川沿いを南



もぐりん



に下っていたようです。土橋長二十四間と書いてありますから、40m以上の橋がここに架かっていたことになります。通常、江戸時代の橋といえば橋面に板を張った木製の橋を想像しますが、この橋は同じ木製の橋でも橋面に丸太を並べてその上に土を敷いて固めた「土橋」だったようです。橋は既に失われて、道は途切れてしまっていますが、「御筋橋」と彫り込まれた橋の親柱が、往時を偲ばせてくれます。橋は江戸時代には岡ノ下橋と呼ばれていたようですが、明治時代に川の名が「三筋川」に変わった時、橋の名前も変わったのかもしれない。

今はすっかり家が立ち並び、街道松もわずか2本になってしまいましたが、当時は美しい松並木越しに海が見渡せる風光明媚な場所だったのかもしれない。



次回(3月号)の文化財めぐりは「安芸区」です。



私のグルメスポット

USAGIYA SALON (中区鶴見町)

読者プレゼント
(P.15に詳細)

「エリザベト音楽大学フルートオーケストラ第29回定期演奏会」(詳細→本誌P.2)に出演の佐藤香菜さん(フルートオーケストラ研究会)おすすめのお店



●佐藤さんより

最初は友達に誘われて訪れました。それ以来、甘い物が食べたい時には友達と一緒にに行っています。店内も外装も可愛くて、心地良いスペースです。特にお気に入りのはパフェです。定番のほか期間限定パフェもあります。

●乙女心が満たされる美味しい、かわいいカフェ。

コンセプトは「小さな屋根裏部屋」。お気に入りの宝物に囲まれて過ごすような安らげる店内。ランチはパスタ、グラタン、パンペルデュなど約10種類。カウンターとテーブル合わせて10席の小さな店ながら、ホワイトソースから手作りする丁寧な仕事で、幅広い世代の女性の心をつかんでいる。メニューの中でも特に力を入れているのがパフェ。素材の新鮮さ、組み合わせの意外性、見た目の美しさ。どれをとっても一品にかける思いの深さが感じられる。見た瞬間、「わぁ♥」と笑顔になる女性客も多いという。笑顔あふれるウサギヤサロン。ランチもパフェも売切れとなる場合があるので、予約の来店がおすすめ。



メルヴェイユ フランボワーズ1,280円。生クリーム、マロンクリームの下にアイスとグラノーラ。フランボワーズのかすかな酸味がいいアクセント。

[USAGIYA SALON]

中区鶴見町6-12
TEL / 050-1345-3055
営業時間 / 11:00 ~ 19:00
※日曜は 13:00 ~
定休日 / 土曜日、祝日

